

9月3日 英語

大学1年の時、例のごとく出席番号が一番だった私は、最初の英語の授業で長文の訳を命じられた。英語が大の苦手だった私は、与えられた時間内で辞書を引きまくり、なんとなく意味ありげな日本語に仕立て上げて答えた。教授は言う。「君は、今の自分の訳の意味が理解できるか。高校では日本語の語順に置き換えて訳をさせるが、それはナンセンスだ。英語圏の人達は当たり前だけど、書かれた順で意味を理解する。語順通りに訳してみなさい」

あと思った。確かにそうだ。訳そうと思うから英語が上達しない。語順のまま理解することが、“英語を読む”ということなんだ。

大学2年になって、あろうことか、塾で英語を教えることになった。最初の授業で教授に言われたことを思い出しながら、生徒にこんな話をした。「本当の意味で英語を身につけたいのなら、例えば、dogを犬と訳して認識してはだめ。英語圏の人にとってはdogはdog。おそらくその国の文化の中で認識されている“dog”と“犬”は違うはずだ」

生徒はキョトンとしていたが、未だにそれは真理であると思っている。

